



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第408号

相應しい人生のための“主の受難と死と復活の神秘”

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

最近、わたしはつくづく、人類は創造主である神なしに未来を描くことはできないと確信するようになりました。もちろん、幼い時から命は神が与えて救って下さるという確信が揺らいだことはありませんが、最近、その確信が人類全体にも浸透していかなければならないということに向けられたということです。長きにわたるコロナ禍で嫌というほど追い込まれていく人々の姿に触れ、相互の犠牲と協力なしに日々を送ることができないことを思い知らされ続けていることもあります。ついさっきまで隣にいた人が自然災害に見舞われたり、人のなかに巣くう闇が引き起こす様々な事件に巻き込まれて命を奪われたりする人のことを耳にしたり、理不尽極まりないことですが、身勝手な国家権力者たちの掲げる大義名分によってすべてを奪われた人の姿を目にしたりと、苦しく、憤りを覚えるほどの出来事のみで現実が存在しているかのようにも思いたくなるからです。わたしたちの中に「神に祈ったってどうにもならない」、「信じていたって何も変わらない」という思いさえ生じることがあるかも知れませんが、便利さや快適さを謳い文句に、お金さえあれば、また国家権力に従いさえすれば不自由なく暮らせることが保障されるという社会システムのなかで生きる人類。まさに“金銭と権力の奴隷”と言ってもいい人類は自然環境までも破壊し、この先、いったいどんな未来を描くことができるのでしょうか。失望しているのではなく、むしろ、神に信頼を置き、神に従う生き方を求めなければならないという自覚がこの先の未来のためには絶対不可欠だということをしてすべての人に伝えたいので

す。「命は食べ物よりも大切であり、体は衣服よりも大切ではないか。あなたがたの天の父は、これらのものがあなたがたに必要なことをご存知である。何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはみな加えて

屋根葺き替え工事	2面
旅の話(3)	3面
レプトン会より	4面
抱樸について	5面
幼稚園から	6面
委員会等報告	7面
お知らせ	8面

与えられる」(マタイ6・25、32～33 参照)とあるとおりです。

キリスト者が主イエスの受難と死と復活を記念するのは、神によって創造された似姿としての人間らしさを失わないためです。主イエスが生まれたこと、命を捧げて下さったことで、人類は自分の「生」と「死」のうちにも神ご自身の思いがあることを理解するのです。だからこそ、神の前、そして人の前では「生」だけでなく「死」をも意味あるもの、聖なるものであることを理解すべきで、相応しく「死」を迎えるとはどういうことかを求めなくていけないのです。人間らしさはこの姿のなかに見出すことができ、第2バチカン公会議『現代世界憲章』にも主イエスの跡に倣うことによって「生」と「死」が聖化され、新たな意味を持つものになるとあります(『現代世界憲章』22 番参照)。

四旬節を過ごしてきたわたしたちは、主イエスの「生」と「死」に自身の「生」と「死」を重ねる人生こそ人間らしいものであり、人類の未来のために絶対不可欠な生き方であることを受けとめなければなりません。主が復活されたように、聖なる「死」を迎えるための人間らしさを身につけ、来たる未来、わたしたち自身も復活の恵みにあずかることができますように。



屋根葺き替え工事の全体説明会

2月13日に屋根葺き替え工事の全体説明会があり、約60名の方に参加して頂きました。

今回、屋根工事を依頼した坂本窯業様には、資料も用意して頂きました。今の屋根及び周辺部位の現状況、改修施工法、屋根で使われる使用材料、施工内容、工事手順、工程表と分かりやすい資料での説明会となりました。また、コロナウイルスによる世界的需要バランスの不安定、原料コストの高騰、建築資材の価格改定の説明もありました。

工事の期間は予備日込みで7月25日から9月3日(日曜日、お盆は除く)、現場就業時間は8時から18時(最長)となっています。資料が欲しい方はまだありますので上川までお伝え下さい。

旅の話 (4)

岩本光弘

トルコに行ったことがきっかけとなり、時間とお金を都合して聖書の世界の旅をしました。この旅はトルコの旅に行った巡礼を専門にしている旅行社を個人で経営している河谷さんの企画でした。河谷さんは大学を卒業後聖書の勉強をしてみたいとイスラエルに行ってエルサレム大学で聖書を学び、11年もイスラエルに滞在した人で、聖書学者並みに聖書が頭に入っている人でしたので、トルコでも聖書に関連する場所では様々な解釈なども加えて解説してくれました。その後、肝心のイスラエルに行っていなかったことに気が付き、河谷さんに行きたいと連絡しました。

このころのイスラエルはインティファダとよばれるパレスチナ人の騒動が続いていて、外国からの巡礼者が途絶えていました。数年後、突然河谷さんから電話があり「岩本さんはイスラエルに行きたいと言っていたけれど行きますか」と言われました。私は喜んで行くことを返事しました。その時に言われたのは、インティファダで参加者が怖がっているので少人数で行きますということでした。参加者は同行司祭と河谷さんを入れて12名でした。

河谷さんは「岩本さん、今回は男が私と神父と岩本さんだけであとはおばちゃんたちだけですがいいですか」とも言われましたが、私はそんなことは全然気にならないので行くことを返事しました。結果として、この旅はとても楽しい旅になりました。

初めて訪れたエルサレムは人影も少なく聖墳墓教会の中にもパラパラとしか巡礼者は居ませんでした。聖櫃の部屋に入るのも10名位しか並んでいすすぐに順番が来ました。どこに行っても人がいませんでした。旅の間いつも笑い声が続きました。この時の神父や同行した人たちとは後日に東京で会って食事をしたり、別の旅も一緒に行ったりしました。

神父には何度も各地で出会いましたが、4年前に大分の司教館で会ったとき、食事会で一緒だったのですが、ガリラヤ湖の魚を食べるとき私がキブツの売店で手に入れていた醤油で食べたろうまかったという話には浜口司教様も大笑いしました。

エルサレムでは現地で活動している広島出身の二人の友人と会い東エルサレムでアラビア料理を食べました。一人は現在もパレスチナの女性たちに縫製を指導する活動を続けています。帰りにパレスチナの女性たちが作った製品をバッグ一杯持って帰り広島の支援組織へ成田から送りました。もう一人は国連の組織で働いていて、ガザ地区に毎週行っているとのことで、イスラエル軍の砲撃で学校の窓ガラスが全部割れてしまった話などを聞きました。

この時に経験したのは「はじめの雨」による激流です。死海のホテルに一泊した後にマサダの方向に行くと、道が大激流で通れなくなっていました。前日の夕方から雷が鳴って小雨が降っていましたが翌日は晴天でした。前夜に荒れ野に降った雨が視界に激流になって流れ込んでいるもので、詩編にも秋の最初の雨について書いてあります。翌日の現地の新聞は一面トップに写真が出ていました。

水巻教会レプトン会の皆様

代表 岩本ナセ様

日本のカリタス会より、レプトン会の皆様から30万円の寄付が届いたと連絡を受け、感謝のうちに新年度の始まりを待っています。いつも温かいご支援をありがとうございます！

こちら、ペルーでは今の季節、子供たちは夏休みを過ごしています。例年でしたら、夏季保育が行われていましたが、コロナの影響で禁止されているため、園舎には子供たちの姿はなく、元気な声が聞こえてくることはありません。

今年に入って部分的に対面式の保育が始まることになっています。新学期は3月から始まりますので、ただ今、その準備として、2年間使われていなかった園舎の整備、消毒、修繕などを行っています。

保育形態は大体次のようになります。

- ・対面式保育は月曜日、水曜日、金曜日の午前中4時間とする。
- ・火曜日と木曜日はインターネットを通じた保育とする。
- ・2022年3月7日(月)に対面式保育を開始する。園児の健康状態と学習速度に合わせ、段階的に適切な時間配分をしていく。
- ・課外活動はビデオを通して行われる。

諸注意

保育園内に入るものはすべて二重マスクをつける。挨拶は身体の接触を避け、手を振るだけにする。風邪の症状があるものは登園しない。保護者の園内への入場は制限する。昼食のサービスはおこなわない。通園バックはA4判の大きさを簡易なものにし、キャリーバックは使用しない。職員、教員の二重マスクの使用と随時、随所の消毒の励行。

コロナ19、オミクロン株の広がりは留まることを知りませんが、人びとはマスクの着用、手洗いの励行など、良い習慣をしっかりと身に付け、それなりに気を付けて生活しています。ただ、コロナの蔓延に慣れっこになって、その怖さが希薄になってきていることが心配です。今年も引き続き、昼食、子ども食堂はできませんので、レプトン会からのご寄付は教職員の給与と保育園の必要のために使わせていただきます。よろしく願いいたします。

みなさまの上に神様の豊かな祝福がありますように。くれぐれもご健康にご留意くださいませ。すべての人に開かれた明るい共同体である水巻教会のますますの充実・発展を心よりお祈りいたしております。感謝のうちに。

2022年2月8日

イエスのカリタス修道女会
リマの聖女ローザ準管区 ペルー共同体
文責：シスターマリー中村英子

認定NPO法人ほうぼく 一抱樸一 を紹介します。

「抱樸」とは原木をそのまま抱き止めるという意味です。

目指すものは、ひとりの路上死も出さない、ひとりでも多く、一日でも早く、路上からの脱出を、ホームレスを生まない社会を創造すること。

<歩み>

1988年12月北九州越冬実行委員会発足、カトリック教会関係者と福岡日雇労働組合員による野宿労働者の調査を、おにぎり持参で行う。

2000年 NPO法人「北九州ホームレス支援機構」設立。理事長は奥田知志(おくだともし) 牧師(日本バプテスト連盟・東八幡キリスト教会)

2014年7月「抱樸」へ団体名称を変更。

<事業概要>

基礎的支援事業としては ①炊き出し事業 ②物資提供 ③保健・医療支援事業 ④人権保護事業をしています。また、自立支援事業、ホームレスを生まない社会形成事業もしています。

<ボランティア本部から・・・>

貴教会のみなさまから頂戴した手書きのメッセージも、お弁当に一枚ずつ添えてすでにお配りいたしました。コロナ禍で、この困難な時を乗り越えた先、かわらず「お弁当」作りをお引受けいただけましたら、この上ない喜びです。

(報告は橋本富美さんに協力して頂きました)

**NPO法人抱樸(ほうぼく)への支援活動**

お手伝いをしていただける方を募っています。

NPO法人抱樸は「出会いから看取りまで」と掲げる伴奏型支援をしている団体です。水巻教会は外に出向いて行く教会、宣教する教会としてこの支援活動を継続しています。

これまでの支援活動は

- ② お弁当作り；現在はコロナ禍で中断。
- ② お手紙作戦；「あなた」にあてた手書きのメッセージ。
- ③ 支援物資の寄付；衣類(男性用、きれいな状態で)等です。

このことだけなら協力できると思われる方、是非手をあげてください、お待ちしております。(文責 総務委員長 岩本ナセ)





水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 4月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

＜水巻聖母幼稚園＞

暖かくなり、かめが冬眠から目覚め、春の訪れを教えてくださいました。外遊びをしている子どもたちは、汗をかきながら遊んでいます。

自由登園がおわり、子どもたちが登園してきました。延期になっていた、遠足や体育公開など行うことができました。今年度初めての遠足で、年長が作った凧をあげたり、遊具で遊んだり、みんなとお弁当を食べて楽しい思い出ができました。

また、先日は、卒園証書授与式を行いました。年長児25名が卒園しました。これからもイエス様マリア様の愛に包まれて、お友達に優しく育つことを楽しみにしています。

いよいよ新学期が始まります。新しい環境、出会いの中で実りのある日々となりますようにお祈りしています。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559

e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

＜マリア子どもの家＞



毎日のように遊んでもらっていた水巻聖母幼稚園の園庭の東側にあったウサギの滑り台が、3月の初めに老朽化で撤去されるというので、写真撮影をしました。

上にのぼると、直ぐ近くに大きな楠木が見え、虫になってみんなを見下ろしているような清々しい気持ちになったよ。

それで、もっと高くまで上がりたくて、手摺につかまってピョンピョン跳ねました。

ぐるっと回って滑り降りる滑り台も、スピードが出てヒヤヒヤ楽しかったよ。

ウサギの滑り台さん、長い間たくさん遊んでくれてありがとう！

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母 幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美

教職員 一同



委員会等報告 2022年3月分

3月度小教区委員会 3月6日

1. 行事予定

- ・4月 3日(日) 小教区委員会
- ・4月 10日(日) 受難の主日(枝の主日)
9時ミサ 1回のみ
- ・4月 14日(木)～16日(土)
＜聖なる3日間の典礼＞ 19時半～。
※16日(土)復活徹夜祭にて1名の入信式
- ・4月 17日(日)＜復活の主日＞
10時ミサ 1回のみ
※着物イベント(ベトナム人青年女性
10名、男性3名)。

2. 議題

(1) 各委員会報告

① 典礼委員会

- ・3月20日(日) 13時半～典礼委員会、
3月27日(日) 13時半～新しいミサ式
次第のための研修会を行う(典礼奉仕者を
対象として)。

② 営繕委員会

- ・¥100,000の見積り額の提示あり。承認
を得たことを受け、鐘楼の撤去工事を依頼
する(鐘楼の鐘は保管)。
- ・強度の問題があるため、取り外した鐘を別
の場所にどのように吊るすかについては
要検証。

(2) 図書係について

- ・折尾地区の豊永眞理子氏を紹介し、一
任することの承認を得た。ミサ後のお
知らせの時間で豊永氏と図書の管理・
利用規定を紹介する。

(3) 聖堂の屋根葺き替え工事について

- ・最終的な見積り金額の提示を受け、営繕委
員長を窓口として施工を依頼する。6月上
旬に工事内容の説明文を添えて近隣住民
の方々への挨拶回りを行う(主任司祭、営
繕委員長)。

(4) 各委員会における協力者の募集につ
いて(小グループの構成員、典礼奉仕者など)

- ・これから先の教会活動に対する意識付け
のために、各委員長、小グループの代表者
が中心となってそれぞれの役割や活動内
容を整理し、協力者を募る(ミサ後のお知
らせや「からしだね」、掲示板等を活用して
の募集、個人的な呼びかけによって)。4月
24日(日)までに活動内容と代表者(メンバ
ー)について総務委員長に報告すること。
- ・今後、各委員会や小グループが邦人の青年
に加え、外国籍、特にベトナム人青年を巻
き込んだ活動の計画を立てていくように
する(「青年会」として捉えるのではなく)。

(5) その他

- ・信徒総会を5月29日(日)9時ミサ後
に行う予定。※合同ミサ。
- ・「ふれあい会」(小グループ)の活動内容や
メンバーの整理を行い、再開するための打
ち合わせを行う(「抱樸」支援についてもこ
の中で行う)。
- ・「冠婚葬祭の会」について。臨時で代表者
を任せられているのが現状。正式な代表者
の選定や活動内容について役員会として
提案できないかとの意見が出た。今後、役
員会で話し合う。



4月のおしらせ



★聖週間のお知らせ★

10日(日)(受難の主日【枝の主日】)

9時ミサのみ

14日(木)(聖木曜日) 19時30分より

15日(金)(聖金曜日) 19時30分より

16日(土)(復活徹夜祭) 19時30分より

17日(日)(復活の主日) 10時より

聖週間は、ミサは上記の1回だけです。

合同ミサですので、お間違えのないようにお越しください。

なお、今年も卵の祝別は行いませんので、持ってこないようにお願いします。

★図書係について★

長年、赤間地区の橋本さんが担当してくださった図書係を、今回交代することになりました。新しい担当は、折尾地区の豊永真理子さんです。よろしくお願いします。

★信徒総会について★

日 時：5月29日(日) 9時ミサ後

少し先の日程ですが、お知らせしておきます。

編集後記

2019年年初来のCOVIT19新型コロナウイルスは、オミクロン株に変容し全国的には一時10万人の感染者を出して3月末現在は緩やかに減少しているものの、未だに終息を迎えることが出来ていません。

福岡県も蔓延防止等重点措置の解除が出されましたが、いつ感染再拡大するかもしれません。そんな中で前触れもなく先月は「からしだね」を休刊させていただき、大変申し訳ありませんでした。

2月末に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、世界の秩序が破壊される核の恐怖の中で多くの一般市民が犠牲になるという悲しい出来事が続きます。

また11年の時を経てもなお傷が癒えることのない東北大震災の時、再び震度6という大震災が起こりました。大津波の被害が出なかったことは不幸中の幸いですが、東北新幹線の脱線の復旧には数か月かかるということです。

大自然の猛威の中でわれわれ人間には為す術も持ち合わせていないことを痛感します。一日も早い平和的解決と、被災地の復旧を祈ります・

神の前に立ちかえり、平和を祈ることを持ち続け、隣人と和解する謙虚さから始める努力をしたいと思います。

